

特集 JR東日本グループ経営ビジョン「変革 2027」

JR東日本グループは、経営環境の急激な変化を先取りし、グループの持続的な成長を実現していくため、新たなグループ経営ビジョン「変革 2027」を2018年7月に策定しました。

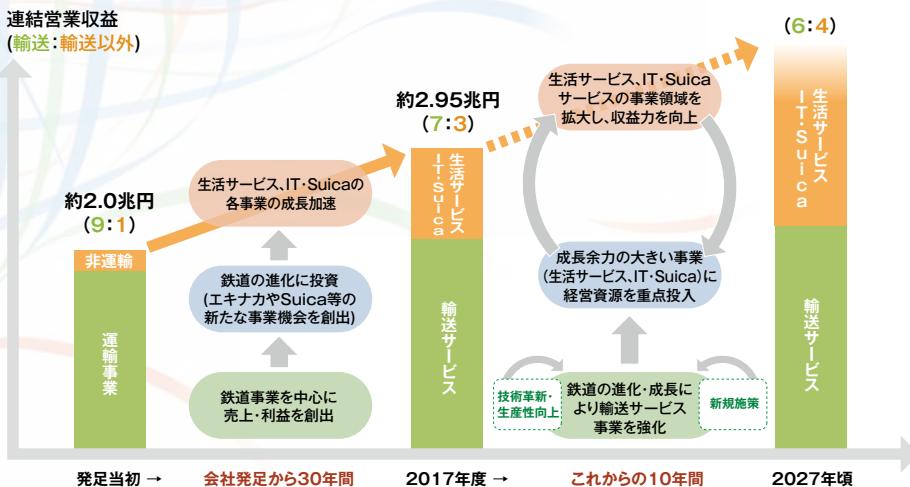
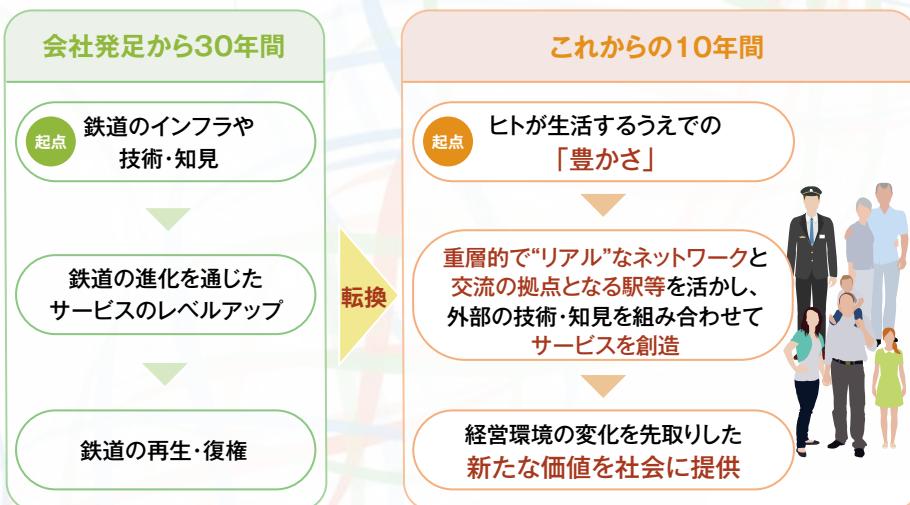
JR東日本グループ経営ビジョン 変革2027

基本方針

これまでの「『鉄道』を起点としたサービス提供」から「『ヒト(すべての人)』を起点とした社会への新たな価値の提供」へと「価値創造ストーリー」を転換していきます。

鉄道を中心とした輸送サービスを質的に変革し、進化・成長させ、その上で、生活サービス事業およびIT・Suica事業に経営資源を重点的に振り向け、新たな「成長エンジン」としていきます。

これにより、2027年度までに、連結営業収益を伸ばすとともに、生活サービスとIT・Suicaの比率を収益全体の4割まで高めていきたいと考えています。

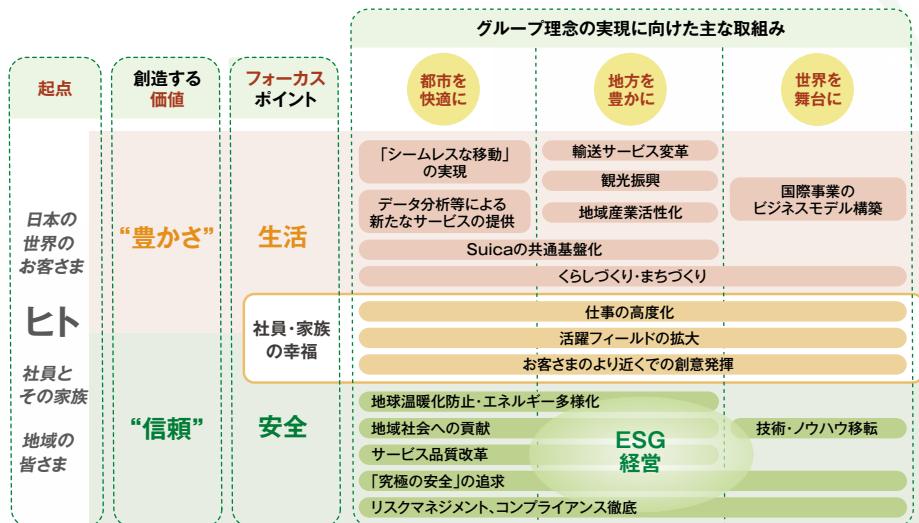


特集 JR東日本グループ経営ビジョン「変革 2027」

全体像

「変革 2027」のもと、当社グループの強みである「信頼」というブランドを基盤に、生活インフラを支える重層的で「リアル」なネットワークを活かし、「都市を快適に」、「地方を豊かに」および「世界を舞台に」の3つの切り口から、「信頼」と「豊かさ」という価値を創造していきます。

その前提として、当社グループは、「安全」を経営のトッププライオリティに位置づけ、グループ一体で「究極の安全」を追求し続けます。さらに、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」も念頭に置き、環境、社会、企業統治の観点から「ESG経営」を実践し、事業を通じて社会的な課題の解決に取り組み、地域社会の発展に貢献していきます。これらの取組みを通じ、グループのあらゆる活動の基盤であるお客さまや地域の皆さまからの「信頼」をさらに高めていきます。

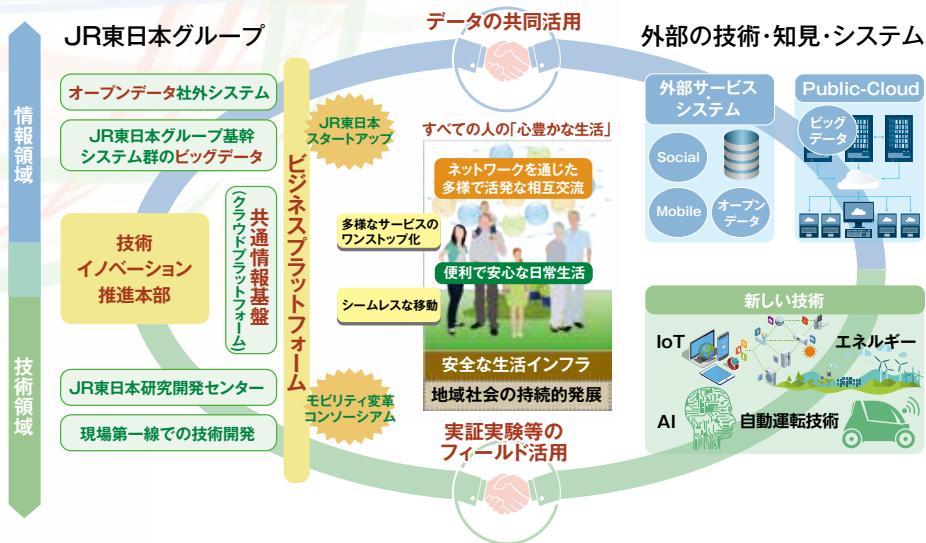


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JR東日本グループの 持続的成長の実現

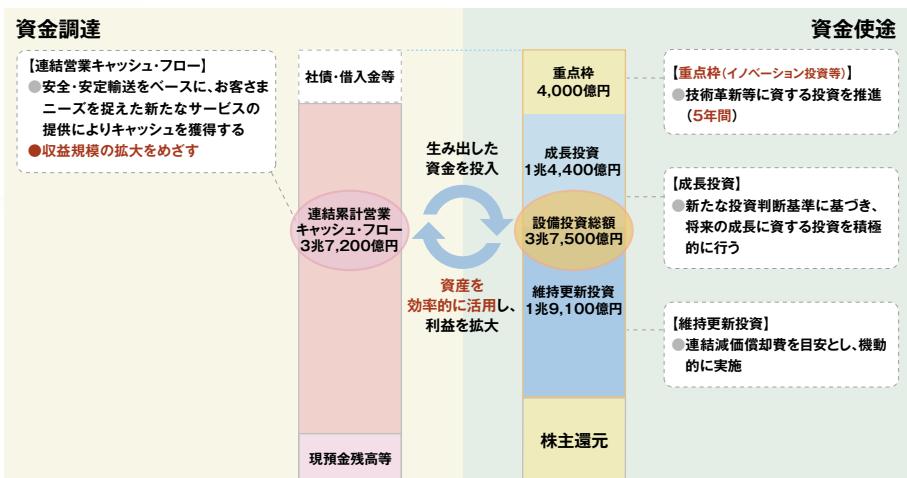


その上で、「ヒトを起点とした新たな価値・サービスの創造」や「技術と情報を中心としたネットワークの強化」により、すべての人の「心豊かな生活」を実現します。そして、「データの共同活用」や「実証実験等のフィールド活用」により、外部との連携をさらに拡大して、当社グループの持続的な成長につなげていきます。



以上のように、今後10年を見据えた「変革」に挑戦するため、営業キャッシュ・フローを積極的に設備投資に振り向け、完成した資産を効率的に活用し、利益のさらなる拡大をめざしていきます。

あわせて、株主還元についても、安定的な増配に加えて、自己株式の取得を柔軟に進め、総還元性向40%、配当性向30%を中長期的にめざしていきます。



グラフ内の数値は「変革 2027」の中間点である2022年度までの総額(5年間)

「変革 2027」に関する動画、資料を当社ホームページに掲載しています。 <http://www.jreast.co.jp/investor/moveup/>